

1. 事業の概要

平成16年3月のヒートアイランド対策大綱の策定を受けて、ヒートアイランド対策に係る施策の一層の推進を図るため下記の事業を実施する。

ヒートアイランド現象による環境影響の調査継続、広域測定の継続実施
(首都圏、近畿・中部地域)

(平成17年度からの新規事業内容)

対策技術データ集の整備、未実証技術の検証

都市緑地を活用した地域の熱環境改善構想の検討(モデル:新宿御苑とその周辺)

大都市(東京、大阪)のオフィス街をモデル地区とした効率的エネルギー管理等の推進事業

2. 事業計画

	H15	H16	H17	H18
環境影響の調査・広域測定の継続 <41百万円>				
対策技術データ集整備、未実証技術の検証 <15百万円>				
都市緑地を活用した地域の熱環境改善構想の検討 <3百万円>				
大都市(東京、大阪)のオフィス街をモデル地区とした効率的エネルギー管理等の推進事業 <20百万円>				

3. 施策の効果

ヒートアイランド現象およびその対策については、現段階では定量的な評価が困難である。本調査によって、定量的な施策目標を作成・実行するための影響指標や評価手法を検討し、ヒートアイランド対策の整備を進める。

ヒートアイランド対策に関する調査

現状

平均気温の長期的な上昇傾向

- ・ 中小都市年平均 約 1.0 上昇
- ・ 大都市年平均 約 2~ 3 上昇



影響

- ・ 熱帯夜の増加
- ・ 昼間の高温化と熱中症の増加
- ・ 冷房用電力消費の増大

環境影響の評価・広域測定の実施

人、生物、大気環境への影響調査
環境影響指標の作成
因果関係や現象のメカニズムの一層の解明

首都圏・近畿・中部地域での広域測定

地域熱環境改善

都市緑地を活用した地域の熱環境改善構想を検討・作成
(モデル：新宿御苑とその周辺)

大都市オフィス街のエネルギー管理推進事業

東京、大阪のオフィス街において

- ・ エネルギー消費量削減による人工排熱の低減
- ・ 地区の気温上昇を抑制する効果がある地表面被覆の改善

など適用可能な施策の調査検討、及び効果の総合的評価

対策技術の評価

既存・新技術のデータ集整備・評価
未実証技術の検証

大綱のフォローアップ

国内外シンポジウム

率先実行事業検討

環境省が率先して行うべき所管建物・公園のヒートアイランド対策事業検討

ヒートアイランド対策の総合的推進